

狛江市小学校研究会理科部

「実験・観察をもとに学んだことを活用できる児童の育成」

研究部長 高橋 章浩

1 主題設定の理由

現行の学習指導要領では、「実感を伴った理解」が重要視された。具体的には「具体的な体験を通して形作られる理解」「主体的な問題解決を通して得られる理解」「実際の生活の自然や生活との関係への認識を含む理解」の3つに整理できる。この3つを学習の中に意図的・計画的に取り入れることで、理科を学ぶことの意義や有用性を実感することにつながり、理科を学ぶ意欲や科学への関心を高めることにつながると考えられる。

また、平成27年度の児童・生徒の学力向上を図るための調査の結果からも、「観察・実験の結果を表やグラフにまとめ、それらをもとに考察して、根拠を示しながら自分の考えを説明する学習場面を設定する」「児童自らが自然の事物・現象に働きかけ、具体的に調べることにより、実感を伴った理解を図ることが大切」とされ、学習内容を活用することに課題があると考えられる。

そこで、研究主題を「実験・観察をもとに学んだことを活用できる児童の育成」と設定し、身近な事物・現象の取り入れ方の工夫、言語活動の充実について研究を深め、理科の有用感や必要性を実感できる児童を育成した。

今年度は、この主題での4年目の取組となり、過去の取組について全小理東京大会で発表を行った。さらに、次期学習指導要領実施に向け、新単元の授業・教材研究を進めた。

2 研究経過

月 日	研究会名	研 究 内 容
4. 12	部 会	研究主題設定 組織作り 年間計画作成
5. 10	総 会	総会
6. 14	部 会	3年研究授業 単元名「音の性質」 授業者 緑野小 山田 誠也 講師 日本体育大学 准教授 稲田 結美先生
7. 12	部 会	3年研究授業 単元名「音の性質」 授業者 狛江第六小 高橋 章浩 講師 大妻女子大学 教授 石井 雅幸先生
9. 6	研 修	東京都小学生科学展出展作品の選考補助・各部会ごとの指導案検討
10. 4	小中合同研	他部参観
10. 27	全国大会	全国小学校理科研究協議会研究大会（東京大会）発表
11. 8	研究授業	他部参観
12. 13	研究授業	4年研究授業 単元名「水のすがたと温度」 授業者 狛江第五小 辻 良太 講師 日本体育大学 准教授 稲田 結美先生
1. 18		研究のまとめ 次年度に向けて

